夕刊
磐城新聞
十月二十三日發行
磐城新聞社
〔日曜祭日翌日休刊〕

新俳句評釋

木津茂太郎

下

○路さへ、春は家さへ　（詩外樓）

これは解らないと言はれるかも知れない。春は何んとなくこの自分の歩いてゐる路さへなつかしい様な氣がする。又、向ふに見える藁ぶきの家さへ親はしい様な氣がする。と云ふ事であつて、路も家も田も山も、すべて春の太陽を浴びてうれしさうであると云ふ情感がこの句の背後に流れてゐる

春だなア……といふよろこびが強く表はれてゐる、

○枇なら二つ三つが木にみのむしはびわの花に　（白　船）

この句は一寸長い。作者の感慨が出てゐるこれは芭蕉の『鬼灯は實も葉もからも紅葉かな』の句と非常に相違してゐる。芭蕉の句は見たまゝの寫生である。作者の感慨がにじみ出してゐない。所が、この句には何でもない寫生の中に、自然の脈搏がリズムをうつ様に出てゐる。枇の木とびわの木とが並んでゐる様な氣がする。何かから作者の寂しみが流れてゐる

○星が、暗い建物の空へいつもの星が出てゐる　（秋紅蓼）

前の白船の句を田園風のものとすれば、これはいかにも都會風の情景である。諸君はこの句の持つてゐる物を感得出來るであらう。しかし、蛮定型俳句ではこんな風な感じが全く出るものではない。たとへば、こんな風になるのである。

○星合や暗いわが家のうへの空

これでは秋紅蓼のやうな味はひが出ないではないか『暗いわが家』と云つてはあるが、その暗いが『空』にかゝつてしまひ、『星合や』この言葉がいかにも詠歎した様な四邊を見廻した様な感じになる。この句は見廻したのではない。つとめか何かから歸つて來る途中、ふつと空を見上げた。星が、――いつも自分が歸途に見上げるあの星が出てゐるのだ。いつもの星だ。自然の單調な繰返し、又、自分の平凡な生活……かういふ氣分で、實にリズミカルにそれが出てゐる。第一こんな氣分は絶對に蛮定型俳句では表現出來ない。何故ならば『星合』とか『七夕』とかと季題を詠み込まねばならないし、型に無理矢理に自己の感銘を押し込めねばならないから、そして實に窮屈だから

筆者の住所――平町一丁目一番地

潮聲硯靜抄帳

○雜詠　當季　天野雨山選　出吟一九六句

新舞子

松原の月夜の砂の白きかな　長貴

會津の旅にて

新涼や磐梯北にそびえたる

△……見ゆる朝

大磐梯朝霧に見えそめにけり

△朝霧に磐梯見えぬ車窓かな

露すでにをく濱草や月上る　眞砂常

地芝居に星すめる夜の深きかな

新涼の雲切れ〳〵に飛びにけり

△新涼の空切れ〳〵に雲飛べる

夜汽車

加藤俊雄

○明け近き汽車にめざゆゐておもひつぐ事の不吉はうち消さずゐる

○ゆくりなく來し金堂の大びさしせまりて澄ゆる空のひそけさ

○金堂のひさしに巣くふ鳩のむれとびたち際に白くはばたく

○金堂をな[illegible]すぎゆける椋のむれ空にはろばろちらばりにけり

○憩ひ居る大き伽藍のいしだたみ冷々として秋立ちにけり

社會の今日

10月24日

△熊本の亂（明治八）△浦鹽撤兵（大正一一）△聯盟理事會滿洲事件十三對一の票決を以て閉會（昭和六）△張督九膺懲爆撃開始（同七）△陸軍特別大演習始まる△フランス、ダラディエ内閣總辭職（同八）

○

ひろげたる無量壽品の金泥に、秋の日さむき峰の古寺　佐々木信綱

淨土三部のお經机や菊活くる　義洲

講談　戸隱奇譚　山の怪秘　(21)

丸山寛雄作　浪木眞畫

獅子岩の靈泉（八）

碧眼の女に導かれるまゝに、刈馬平七郎、勇を鼓して闘の中へ足を入れた。金木さいの香氣のやうな、いゝ匂だが刺戟の強い香が廣い土間の薄暗に浮動してゐる。何の匂であらう

よくは判らないが、入口から眞つ直ぐ裏口までは三間巾位のだゞつ廣い土間が通つてゐる。その左手に上りがまちがあつて、十疊位の日本間が幾つも奥まで隣り合つてつゞいてゐる。天井はたゞ黑く、手探りすれば無氣味なやもりも吸ひついてゐやう

『おゝ、お前さんかね。さあ構はずこんなところだけれど上つて下さい』

一番奥の間に圍爐裡が切つてあつて、二つ三つの人影がうづくまつてゐた。今の言葉は、このかたまりのうちの一人である

古風なオランダ洋燈が暗い天井から吊下つたその下に、髮の毛をもぢや〳〵させた餘り人相のよくないのが三人、爐にあたりながら額を集めてゐた。着物は木綿の盲縞で、襟や袖口はびろうどの黑い布で隙取つてある。體格は打見るところ相當に肩幅廣く頑丈な人々である

『うちの妹をお救ひ下されたさうですが、重く御禮申上げます。先づこれへお上り下され』

これが碧眼の女の兄であらうか

言葉も丁寧に、腰こそ上げないが兩手を擴げるやうにして招じ入れる

『いや、拙者こそ突然に參つて御厄介になり申す』

平七郎は女の汲んで來た盥様の物に足を入れて、洗ひ拭つてから圍爐裡の傍へにぢり寄つたが、腰の一刀は絶えず左腕につけて油斷がない。しかも刀の下げ緒を膝頭で抑へてゐる周到振りである

一人の男は、藁と布とで編んだ丸形の座布團を出した。平七郎これを敷いて

『隨分靜かなお住居でござるな』

『到頭、斯様な場所へ追込まれるやうになりましたよ。吾々の先祖は、元關東の平原に羽振りを利かしてゐたさうでござんすが、これも時世時節で仕方がありませんや。はゝゝゝ』

容貌の險しいに似ず、樂天的な氣の置けない話し振りである。これで平七郎もやゝ心の武裝を解くことが出來た。あはいオランダ洋燈の下に見る三人の男はアイヌ人のやうに感じられた。しかし、それにしては言葉がしつかりしてゐる

『貴方方は、いつ頃からこんな所に住まれたのでござるか』

『よくは知りませぬが、何でも三代ほど前からださうです。我々の祖先といふのは天文年間に日本の南から渡來したものださうです。はじめ房州の東の海邊に漂流して上陸したのが、順々に阪東太郎の流れに溯つて到頭、こんな山奥へ閉ぢ籠もるやうになつたのでござんすよ』

『して見ると、貴方方は異國のお生れでございますな』

『生れたのは、日本の國に相違ございませんが、種族はオランダあたりでござんせう』

平七郎は、もぢやついた髮の毛の下に瑠璃色に輝いたこの男達を見詰めてゐると、何か猿のやうな動物にでも話しかけてゐる氣持になつた

男達は、平七郎の怪訝に思ふ腕の内も頓とお構ひなく、くり〳〵と眼玉を動物的に動かしては、無遠慮に問はず語りをする

『もう今となつちや、ぢたばたしたところで仕方ありませんや。麓の人達は私等を相手にしてはくれぬし、山に獲物はゐなくなつたし、遲かれ早かれ、このまゝ自然に絶え亡んで行くことでせう』

それから平七郎は自分の生れ在所と姓名を名乘つた。相手の女の兄といふ正面に座つた首領株は、この村の名を取つて羽尾と呼び、名は太郎といつた。妹はヤマトといふのださうである

創作　紅涙（七）

加藤純弘

『そんぢやア折角だから行つて來る事にすつか、何だか俺あ無駄づかひするやうな氣ゃァつけんども』

芳子はすつかり嬉しくなつて小躍りして部屋中跳び廻つた

三

『雪、お前これから歸つちや暗くなつから泊つて明日の朝早く行つたらどうだね！』

どんよりと曇つて高空には可成り強い風が吹いてゐるらしく、雨雲の去來があわたゞしく夕闇の迫る氣配が山に、田に、畑に、農夫の姿も淡く消えてゆく。不澤の叔母がしきりに泊つて行けと勸めたのを『家で心配しますから』と預けて置いた十圓ほどの金をもらつて、夕暮れの道を急いだ

ほどなくS村へ行く本道へ出た、橋の所に立つて遠廻りでも本道をS村の宿へぬけやうか、それとも大岡山を越えて近道を行かうかとためらつてゐたが、一刻も早く母の嬉ぶ顏を見たへと思つて川添ひの道を山へ向つて辿つた。細長い田圃を横ぎつて山すその部落へ出た頃には、家々に灯がともされてゐて、足もとがやうやく見ゑる位であつた。

小さなこの山すそを廻ると夕闇に黑く大岡山の頂上が、南の加波穗嶺に對立して沼が白々と暮れ殘つてゐた。雪枝は山の神秘に魅惑せられたやうに立ち止まつて、しばし茫然として見つめた。大岡山を吹き下す風が冷たく沼岸の葉先の枯れた葉をさら〳〵と吹き鳴らし、その度に水が鉛色に動く、向ふ岸の荒れた祠の屋根、松聲のさわめき、畑にも山にも人の氣配は消えてすべてが靜寂の中に包みこまれて了つたやうである

澤なりの音に不圖吾に歸つた雪枝は再び急ぎ足に大岡山の中腹の坂道へさしかゝつた、誰か山を降りて來るらしくがさ〳〵と落葉をふむ足音が聞える、雪枝は顏を上げて前方をすかして見た。枯枝を背負つた一人の男が手に鋸と山刀を持つておりて來る所だつた、すれ違ふ時夕闇の中に若者の顏がちらりと淡く見えたが氣にも留めずすたすたと坂道を登つて行つた

◎肥料と!! ◎石灰!!とは
御撰擇が必要です。
更生の産業(肥料)石灰　産業印魚粉肥料　弊社特製品は
……他の追隨し得ぬ質實本位の……
……優秀品であり廉價を以て……
經濟戰線上に於る非常時の秋!
―農村各位の爲に………!!
營業課目
各種石灰製造販賣
魚粉肥料製造販賣
建築壁材料製造販賣
月賦償還式相互建築
土木建築設計請負
常磐線四倉驛前
昭和産業合資會社
電話一八番

御華客様本位の弊店で今回『ひな鳥水たき』『季節の松茸料理』を始めました。何卒御尊來御試食の程御待ち申して居ります。
ひな鳥水たき
季節の松茸料理
◎料理は毎日献立を替えて調理致します。
◎御宴會、出前は如何様にも御相談に應じます。
此度御客様御希望の檜舞臺を宴會場に設けました何卒御利用下さい。
平町字紺屋町
割烹部 住吉屋本店
電話一五九番

開店して
まだ日が淺い……ハヤシ
品質と新型の自慢品を
ドコよりもお安く
勉强致します……。
何卒御高覽の程を…
冬物…澤山入荷致しました
小中學生用外套、男女小學生オーバ、女學生婦人用オーバ、男女小學生通學服、婦人用文化コート、同高級コート、可愛らしいベビー服
生地裁斷 注文裁縫 直しもの無料サービス
平町三丁目角(マルトモ書店向と)
ハヤシ 婦人子供洋服店

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

廣告

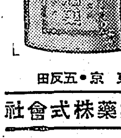
美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町電三六〇

秋色を愛でて
ドライブを
タクシーは尼子へ
車体優美＝御用命は親切
迅速をモットーに！
尼子タクシー
電六四〇番
洗練されたサービスは完全に
皆様の御用を果します

法治國の藥業者に告ぐ
星製藥株式會社
福島縣星支部長會
一、大阪製藥所は貳萬五千圓を供託し假處分執行の取消を得て曰く製造販賣は自由となつたホシ胃腸藥の秋季大特賣をする、安心して仕入れよと宣傳して居る。絶對自由をするから盜人が出來るのだ、絶對自由をするから人殺も出來るのだ、法治國はその盜人其の人殺を罰する。製造又は販賣の絶對自由をしたら、それと同じく刑事民事の罰を受けねばならぬ。
二、法治國にけ絶對自由はない、法律の範圍内の自由あるのみ。藥業者よ日本は神國である。日本は法治國である。大阪製藥所は本訴にも敗けた、四つの假處分にも負けた、何一つ勝つたものはない。
三、神様は惡い事をする時には其の惡い事を隱す智慧を絶對與へて居らないことを彼自身白狀して居る。法治國では盜みをした者は罰せられ人を殺した者は死刑に處せられる。

胃腸　自力更生療法
ホシ胃腸藥
本劑は單なる消化劑ではありません消化器官をして充分に其の機能を發揮せしめ以て胃腸疾患を克服せんとするものであります。即ち、胃腸に對して命令したり、おどしたり、すかしたりして其の活動を促進するのであります。「病人」でない人々にも健胃藥としてお薦め致します
藥價 特大二・〇〇 中罐〇・五〇 大罐一・〇〇 小罐〇・二〇

胃腸　疾患原因療法
ホシチャコール錠
「ホシチャコール錠」は、その理學的作用によつて、胃腸疾患の原因たる毒素・毒瓦斯・粘液等を吸着し排除するのであります。食餌中毒・慢性胃腸カタルの各種の症狀・胃痛・腹張り・噯氣等に於て其の原因に對して働く合理的藥劑であります。
藥價 大增量(從來の倍以上) 三一〇錠一・〇〇 一三〇錠〇・五〇
クスリはホシ

東京・五反田
星製藥株式會社

産婦人科
外科
藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 内木宗八
藥劑師 玄番彌一
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

平から　海遥けく蘭領印度へ
廿六日から電話開通
三分間六十圓乃至八十圓

曩に滿、鮮、臺各方面と通話出來る樣になつた平局から今回更に來二十六日から蘭領印度との通話が開始される事になつた該通話は

取扱時間は午前九時より午後十時迄、料金はバンドン、バタヴイア、スラバヤ等ジャバ及びマドウーラ島へは一通話（三分間）六十圓スマトラの北部地方及びマカッサール（セレベス島）へは一通話八十圓と決定、開通の前日廿五日には床次遞相と蘭領印度通信長官との間に開通祝賀のメッセージ交換が行はれる尙ほ來月中旬からは對米通話も出來る樣になる筈で通話料は一通話（三分間）九十圓と內定した

沿岸各漁業者が　昭和人絹に反對
成行き憂慮さる

錦村に創設さるゝ事となつた昭和人絹會社は、其の規模結構其他最も現代的機構を有する纖維工業として地方一帶の繁榮を招來すべく殆ど既定の事實として一般から大なる期待を繫けられてゐるが右の操業に伴ひ、生產品の洗滌藥液其他染料等の流下は附近沿岸各濱の漁業上重大なる惡影響を及ぼすと云ふ理由の下に之を以て死活の問題とした植田小名濱、江名、豐間、四倉等の各關係漁業者は一昨二十一日植田町役場に會合、茨城縣の隣接各漁業組合と提携、小名濱町に事務所を置き町田商工大臣に向つて右許可撤回の猛運動を開始する事になつた爲折角地方の繁榮上喜び迎へられた該事業計劃に一抹の暗翳を生ずるに至り地元有志等はその圓滿解決に就て非常に苦慮し始めたと傳へられてゐる

靑訓聯合演習

郡下各靑訓主事會は昨二十三日平第一校に開き郡靑訓聯合演習を來月十八、九の兩日四倉、大野、大浦村方面に於て磐中配屬將校大井川中佐その他指揮の下に行ふことに決定、關係者は今二十三日午後二時より第一校に協議會を開き種々具体的の打合せを行つたが大体昨年同樣若松二十九聯隊より兵器その他の應援を受け郡下四十九靑訓所、約千五百名の生徒を總動員して盛大に行はれる模樣である

○○○○野外演習一束　平商四年生一同は來る三十一日駒場配屬將校、廳原教師指導の下に湯本方面に於て、磐中二年生は二十五日比佐、庄司兩教師指導で好間村上の原方面に於て何れも野外演習をなす

教員保姆檢定試驗
昨日から開始さる

小學校教員並に幼稚園保姆檢定試驗は昨廿二日より五日間平第一校講堂に於て執行されてゐるが受驗者總數約百五十名で中には勿來校高一の矢吹七郎（一四）君の如き年少者も居る

米國や滿洲にも活躍
櫻丘の學び舍を巣立つた
二千五百人卒業後の消息

磐城高等女學校は明治四十四年創立、大正二年以降今年まで二十二回で二千五百五十三名の卒業者を出してゐるが中死亡百七名、不明六十七名を除いた二千三百七十九名の現住所調べによると左記の如くである

郡內一、五九三　双葉及び相馬郡一四一　縣內九〇　茨城縣一一七　その他府縣計三五八　北海道一一　樺太二　臺灣八　朝鮮一二　滿洲九　米國四　支那一　南洋三

愈々勞働者拂底
近來漸く各方面に
匡救工事の恩惠反映

夏井川改修工事の進捗に伴ふ所要人夫の增加から平職業紹介所では既報の如く目下第三回就勞人夫の登錄を行つて居る、前二回の登錄濟みと稻刈り季を控ゐて現在人夫の休役などを豫想し全町各區長と連絡これが狩出しに努めて居るが昨二十二日迄で男女僅か十名に足らぬ有樣に同所でもはや各地匡救工事などの關係で失業勞働者も無くなつたものと觀て居ると、尙今回は登錄次第就勞出來るのだから希望者は直に各區長の證明を得て申出られたいと

一日約三十車平均の
營業用炭發送量減少
一時的の變調か？　次回の實績刮目さる

最近の地方炭界は各山元に於ける現在貯炭量等から觀て今後需要季の發送上或る程度の制限緩和を必要とする狀勢に置かれてあつたが去る十一日以降二十日迄の發送高は

營業用三、六三五車　四六、八一五瓲　省用一、五八九車二〇、三九二瓲　合計五、二二四車六七、二〇七瓲

で需要季に在り乍ら前年同期に比し

營業用三〇八車二、七〇三瓲

減の案外な結果を見るに至つた爲省用に於て

三九車五四三瓲

を增したが差引八九車を增し乍ら數量に於ては二、一六〇瓲の赤字を示した、尙ほ今回の減少は一時的の變調に因るか或る程度の恒久的原因が生じたものであるかに就き次回以後の實績が

○○○○草野角眞綿傳習　草野村農會では過般來農家の副業奬勵として角眞綿傳習會を催し去る十九日役場會議室に於て修了者二十五名の證書授與式を擧行した

○○○○兒童籠球延期　第三區小學兒童籠球豫選會は來る廿九日を卅一日に延期平第一校庭で、尙來月十八日の郡下大會は別項靑訓聯合演習その他の都合で延期される

江名町助役
作山一枝氏に內定

江名町では曩に右色助役の病氣退職後其儘となつて居たが去る二十日の町會に於て現赤井第一小學校長作山一枝氏を推薦する事になり同氏の內諾を得たので其筋の手續完了を待ち正式就任するものと觀られてゐる

○○○○靖國神社例祭講話　平町各學校では今二十三日靖國神社例祭に當り國旗掲揚式を行ひ校長より夫々講話あつた

福島高商を迎へ
技を競ふ磐炭軍
練習に好記錄續出

磐炭競技部では來る二十八日午前九時より同鑛グラウンドに於て福島高商を招き對抗競技會を催すため之が練習として一昨二十一日午前九時半より同グラウンドに於て練習記錄會を催したが結果左の如く非常な好記錄を續出した

△百米—一一秒四（宇野）△四百米—五四秒（寒河江）△千五百米—四分三二秒（小板橋）△五千米—一七分三六秒（工藤）△八百米繼走—一分三八秒五（宇野、坂本、寒河江、加藤）△走高跳—一米六八（花澤）△三段跳—一三米三六（金成）

新米出廻る
來月の共販に十俵

來月一日の平農倉共販へ昨二十二日草野村泉崎より新米十俵が持ち込まれたが昨年十一月十八日飯野村谷川瀨より最初の出荷あつたに比し一ヶ月早く未だ檢查は行はぬが品質も比較的良好であると

產米俵詰奬勵　石城郡產米は從來俵裝區々であつたが政府は本縣會津、佐賀縣以外には叺入を買上げず且つ叺は十五、六錢であり、俵の最高十二錢位に比し負擔が多いので飯野村農庫に於ては補助金を交付して俵を奬勵してゐる外玉川其の他各所でも同樣の氣運にあるが平窪農業倉庫でもこの程俵賣りを計劃し各農家に對し夫々奬勵すると共に餘分は組合で賣上げる旨を傳達した

某商店一ヶ月の
市外通話料二百卅圓
平局創始以來の最高記錄

平局有料電話加入者七百名の九月通話料（去る二十日納期）を見ると、市外通話無きもの七十で五錢六名十錢二十六名であり、某店の二百三十九圓八十五錢が最高で百六十九圓七十錢が之に次いで居るが前月の最高は二百二十九圓二十五錢で前記通話料は平局電話取扱以來の最高記錄であると尙納入成績の芳ばしくないのは十圓未滿平均二、三圓所で、稀には支拂困難が理由で無い五錢の未納者もあると

○○○○通話停止九件　昨報—平局では去月分市外通話料未納者九名に對し今廿三日午前八時一齊に通話を停止した

不良簡の憧れに
夢を追ふ姪
叔父から搜索願

平町古鍛冶町一八田口健姪杉本シツ（二八）は去る十二日突然同居先の前記叔父宅から行方を晦したが同人は平素カフエー勤めを望んでゐたので或は惡周旋人にでも誘惑され酌婦にでもなつてゐるではないかと今二十三日健から平署に搜索方を願ひ出た

○○○○磐女圖案入選者　磐女圖畫部では來る廿八、九の兩日開催するバザー、音樂會の宣傳のためポスター圖案を三年生より募集中であつたがこの程左の如く入選決定したので四年生有志の助力を得て郡內要處に掲示した

熊安子、峯房子、谷川マサ子、直井ユキ、小湊郁子、白土ワカ、吉田千惠子、小泉哲子、齊藤喜代子、田邊美那子

廿五日高麗橋完成
竣功式の諸準備を急ぐ

平町の高麗橋竣功式は愈々來る二十八日に迫つたので町では昨二十二日土木委員會を開きこれが準備に就き協議した、工事は目下最終の親柱工事中であるが明後二十五日迄には一切完成すると

○○○○愛宕神社例祭　草野村鎭守郷社愛宕花園神社例祭は明二十四日執行されるが古來子育參りとして知られて居り盛況を呈するであらうと

すわらじ劇の夕盛況

平町社會事業助成會主催、靑年團、婦人會後援の資金造成『すわらじ劇の夕』第一日は昨二十二日午後六時半から聚樂館で催したが入場者七百餘名演劇は風水害による大不作に因んだ天保年間の大飢饉を背影にした『義亂前後』及呼子鳥、さまよへる十字架心開軒蝙蝠などの新國劇で觀衆に明るい氣分を與え盛會であつた、尙今二十三日も同樣開演する筈

○○○○遞講生採用試驗　遞信講習所普通科生の試驗は十二月一、二の兩日仙臺、郡山に於て執行されるが受驗資格は大正六年一月一日より同九年十二月三十一日迄出生の高等小學卒業以上の男子、仙臺遞信局に於ける願書締切は來月十五日で最寄局にて受付けると

X美友兩畫展

平町美友會では來月二、三、四の三日間マルトモホールに於て展覽會を催すが十二號より百號に至る大小洋畫の外に日本畫、俳畫の出品あり目下會員習作に沒頭中でシーズン掉尾の盛會を豫想されてゐる、尙は磐中X會でも來月十、十一の兩日平町訓盲院に展覽會を開くと

○○○○徵發事務檢閲　平署管內各町村の第二師團召集徵發事務檢閲は今二十三日午後一時から飯野小學校で福島聯隊區司令官眞山大佐により執行された、同日午前九時から平署會議室で駐在巡査のため行つた

であると

○○○○古物商違反檢擧　東京市本所區厩橋三丁目一四古物商鮮人權彰義（三七）は湯本町氏名不詳の酒屋より萬年筆ペン先一ケを十五錢で、同本所區綠町二丁目一八同吳占同（三八）は湯本町質屋江尻タツ方より時計側銀小型カツプ（計七圓）を、同本所區東駒形四丁目一二同鄭華燮（三六）は小名濱町本町三〇堀內マチ方より金指輪一個（二匁五分）を二十六圓五十錢で、夫々昨二十二日買入れ記帳を怠り今二十三日平署に檢擧されたが吳は茨城縣で、鄭は茨城縣湯本町で各々三件づゝの違反が發覺した

○○○○賭博一味審理終る　既報—石住、貝泊方部の賭博事件は三十八名全部起訴されて平區香西判事係りで審理中であつたが此程終了したので一兩日中略式命令を以て處分されることになつた

酒中仙　文豪桂月の風懷
川前の歌碑完成を機に
一代の文藻を偲ぶ

大町桂月の歌碑『散り果てて枯木ばかりと思ひしに日入りて見ゆる溪のもみぢ葉』が勝地夏井谿谷の籠場の瀧に建つた。その壯年時に於て『もろともに……』なる風懷を叙して飄然遍路の旅に出た西行のそれの樣に、一笠一蓑の素撲な旅を好んだ故文豪の歌碑が、神斧鬼鑿の巉巖に錦繡織りなす天下の奇勝に建てられ其の建碑式がこの二十八日に擧げられるとは一代の所謂『酒中仙』が銘釀『淸醪』の滿をひいて泉下に莞爾たるものがあるであらう

明治二年一月高知に生る名は芳衞、桂濱月下漁朗とも號した、明治二十九年東京帝國大學國文科を卒業、一時雜誌『太陽』『學生』『中學世界』に執筆晩年酒の爲胃病となり、大正十四年六月十日青森縣蔦温泉に靜養中五十七で歿。著書『花紅葉』『黄菊白菊』『日本文明史』『箏の雫』『關東山水』『大絃小絃』『伯爵後藤象次郎』等がある

數ある隨筆紀行中、桂月ファンの爲紀行文二三を抄錄する

（關東の山水から）而も凉く而も月明かに、船は靜に金波銀波の上を行く、この凉味と快味とは、少くとも二三年以來には知らざりし處なり。されど夜の二三時頃となりては凉しさ過ぎて寧ろ寒きを覺ゆ。眠くなりては正座も苦くなりぬ。されど身を横にする餘地なし、若き女起き上りて餘地ありけむ。身を横にす。幾時間經たりけむ。目を覺ませば月落ちて日未だ出でず、曙色天に滿ちて品川の砲臺近く船尾に見えたり

『月の東京灣』抄記

（桂月全集から）八代氏輝は早世して子が無い。次の弟が良眞。僧となつて東榮と稱し花倉に居り花倉御曹子と呼ばれた。又その次の弟が義元、僧となつて梅岳と稱し、善德寺に居て善德寺御曹子と呼ばれた。氏輝と義元とは同じ腹で中御門大納言の女の生む處である良眞は異腹で福島安房守の女の生む所である、氏輝は遺言して同腹の弟の義元に後を嗣がせる事にした良眞及其徒黨は大不平である。兵を擧げやりとした（未完）

平町の三春を飾る
滿蒙博膳立成る
會長以下役員決定

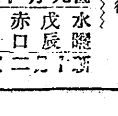
明春の平町を飾る國防と滿蒙博覽會は既報の如く來年四月一日より同卅日迄中町元博覽會第一會場跡で華々しく開かれるので町でも一層賑ひに柏車すべく過般委員を擧げ着々準備を進めて來たが今二十三日午後一時から町會議事堂に於て第二回委員會を開き左記役員の任命及協賛會設置に關し協議愈々具体的事業を進むる事になつたが同會は國防、滿蒙、一般の三會場より成り非常時局に際し盛會を豫想されてゐる

（會長）靑沼町長（副會長）萩原義雄、佐々木龍若（理事長）酒井寅之助（常務理事）伊東一（外理事）十三町議

○○○○軟式野球日決定　諸種の都合で延期されて居た平軟式協會主催第四回町內野球大會は愈々來月四日の日曜をトして午前八時より擧行することに決定したが十五試合を一日で完了する豫定

○○○○お披露目　老妓軍花榮を送つて些か疲れうを感じてゐた開花では、今回水戸から若代（二四）を移入して駒を枕頭に進めさせる事になつた

二十四日
日出　五、五四　月出後　五、三七
日沒　四、五六　月沒前　七、一八
滿潮　前六、三五　後五、三五
干潮　前一一、五五　後



舊九月十六日　水曜　戊辰　赤口　破　箕宿

諸判定廳　東京市本鄕區湯島四丁目五十一番地　高島易斷總本部　神宮館

▲一白の人　豫想に反して物事調ひ難く貸金赤乏しき日▲二黑の人　從來の業務を守りて大事大望を企つ可らず▲三碧の人　諸事控へ目にすれば凶運も吉に向はんとす▲四綠の人　隱忍自重して時運の開通するを待つが安全▲五黃の人　横道に外れず直進すれば希望目的は達す▲六白の人　人の爲に盡力し得れば實行するが後の爲吉▲七赤の人　起業計畫は永久に生活の道を形成する吉日▲八白の人　勞する割合に益なしとて焦る可らず病注意▲九紫の人　辛酸勞苦の効報ひられて成就すべき大吉日

魂の入つた
機關銃印の自轉車
日章旗の如く輝く特長
一、全部鋼鐵、特種壓搾、製
二、自働注油、防水防塵、裝置
三、ヘツト及ひホークのスプリング作動
斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも惡路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります
機關銃印の自轉車（宣傳中）五十八圓
戰車の如く頑强　だと御評判を賜りました
フタバ式超重量用リヤカー（宣傳中）廿五圓
永年修繕費のかゝらぬ
兩車の御利用を切に御願ひ申上げます
フタバ商會
平。新川町。月見橋際

内科
川井内科診療所
平　南町（電二四三）
川井安子

自轉車ノ月賦販賣
御通知次第御伺ヒ致シマス。
エビスヤ自轉車店
平町　南町　電六六四